

はじめに

日本の食と農、子供たちの健康と未来を考えると、どのような給食がいいでしょうか？そのヒントを得るために、まずは現在の状況を知らうと調査を行った結果、地域ごとに取り組み方が大きく異なることが分かりました。皆さんがお住まいの地域の給食はどうなっているでしょう？「うちのまちでも、こんなふうになってほしいな」と感じる部分が見つかるかもしれません。今後もさらに調査を進め、理想や課題を明確にし、より良い学校給食をめざしていきます。今回の調査結果は、どなたでも自由にご利用いただけますので、ぜひ参考にしてみてください♪

目次

【基礎情報】

- 1-1) 一食あたりの給食費はいくらですか？（全学年平均） P2
- 2-1) 一日あたりの提供数は何食ですか？（食／日） P2
- 3-1) 給食の質向上のために（オーガニック食材の使用など）に行政補助を行っていますか？ P2
- 3-2) 給食の質向上のために、行政補助を行っている場合の金額は「一人あたり」いくらですか？ P2
- 3-3) 給食の質向上のために、行政補助を行っている場合の金額は「総額で」いくらですか？ P2
- 4-1) 食材を調達している機関を、全てお答えください P3
- 5-1) 採用している調理方式を、全て回答願います（複数回答可） P4
- 5-2～4) 採用している調理方式を、学校数で回答願います P4

【地産地消・食料自給率の向上】

- 6) 地産地消率（都道府県産食材の使用割合）を教えてください P5

【質向上のための公的負担の実現】

- 7) 輸入食材の使用率を教えてください P6
- 11) 有機米と有機食材の使用率を教えてください（年平均） P8
- 12-1～3) 米飯、パン食、麺類は、それぞれ月何回提供していますか？ P9
- 13-1) 牛乳は選択制ですか？ P9
- 13-2) 牛乳は月何回提供していますか？ P9
- 15-1) 一食当たり平均何品ですか？（例、ごはん、おかず2品、汁物＝計4品。牛乳は除く） P10

【化学物質や添加物の削減】

- 8-1) 調味料は無添加のものを使っていますか？（例、アミノ酸等、ブドウ糖果糖液等が入っていない） P7
- 9-1) 塩は天然塩を使って調理していますか？ P7
- 10-1) 調理する時に、出汁はとっていますか？ P8
- 14) 冷凍食品、加工食品、カット野菜について、月の使用頻度を教えてください P10

【子供の健康と農業を守る食育】

- 16-1) 食育の取組を行っていますか？（例、郷土料理、農業体験、残渣対策など） P11
- 17) 給食合計時間を教えてください（〇分） P11

【不登校の昼食サポートの実施】

- 18-1) 不登校児童への昼食サポートは何か実施していますか？ P12

【協力自治体 一覧】 P13～P14

1-1) 一食あたりの給食費はいくらですか？（全学年平均）

	全国平均	
小学校		276 円
中学校		327 円

【質問のねらい】

- ・自治体ごとの差など、実態を知る
- ・給食費無償化を進めて、質が下がらないかなど
様々な分析に必要

2-1) 一日あたりの提供数は何食ですか？（食/日）

	全国平均	
小学校		10,455 食 / 日
中学校		4,719 食 / 日

【質問のねらい】

- ・自治体ごとの差など、実態を知る
- ・提供食数の差が、質や食材調達に影響する
かなど、様々な分析に必要

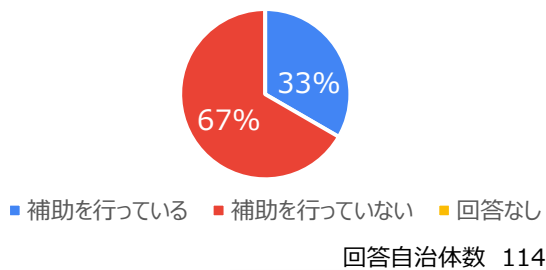
3-1) 給食の質向上のために（オーガニック食材の使用など）に行政補助を行っていますか？

小学校	補助を行っている	38 自治体
	補助を行っていない	76 自治体
	回答なし	0 自治体
中学校	補助を行っている	37 自治体
	補助を行っていない	77 自治体
	回答なし	0 自治体

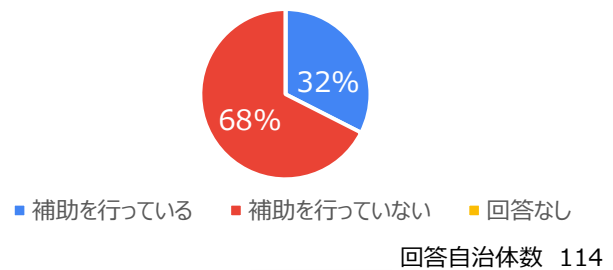
【質問のねらい】

- ・物価高騰対策でなく、質の向上をテーマに補助
を行っている自治体がどのくらいあるのかわかる
- ・数字だけでなく、補助の内容も把握する

小学校) 質向上への補助



中学校) 質向上への補助



3-2) 給食の質向上のために、行政補助を行っている場合の金額は「一人あたり」いくらですか？

小学校	一人あたり補助額	4,434 円
中学校	一人あたり補助額	6,923 円
	(回答自治体数)	38

3-3) 給食の質向上のために、行政補助を行っている場合の金額は「総額で」いくらですか？

小学校	総額	5,088 万円 / 年
中学校	総額	3,872 万円 / 年
	(回答自治体数)	37

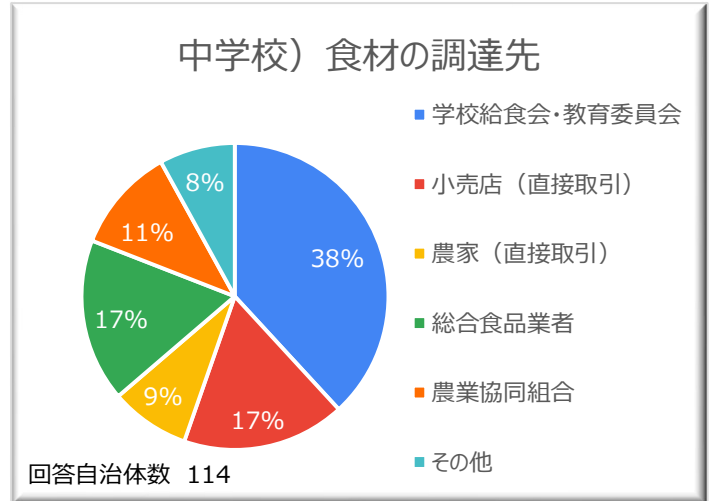
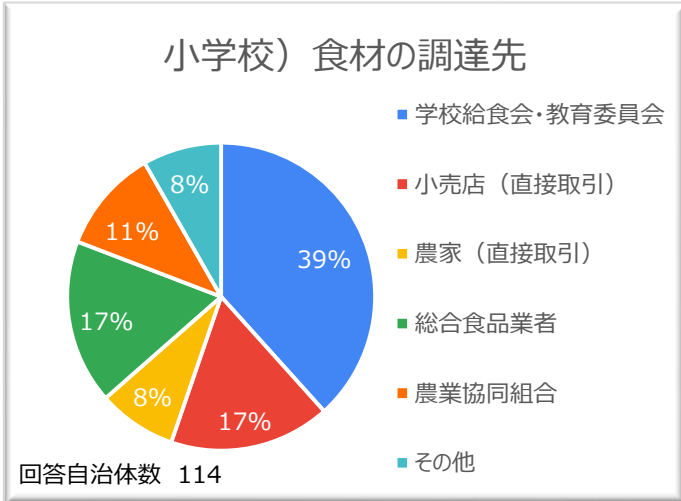
【回答の一例】

- ・環境保全米（特別栽培米）の生産に、慣行栽培との差額60キロあたり250円を補助（宮城県仙台市）
- ・地産地消として市の特産物（川辺牛）を食材として提供している（鹿児島県南九州市）
- ・2食分の有機米購入について、慣行米との差額を補助（千葉県佐倉市）

4-1) 食材を調達している機関を、全てお答えください（複数回答可）

小学校	学校給食会・教育委員会	102	中学校	学校給食会・教育委員会	100
	小売店（直接取引）	45		小売店（直接取引）	45
	農家（直接取引）	22		農家（直接取引）	22
	総合食品業者	46		総合食品業者	45
	農業協同組合	29		農業協同組合	29
	その他	22		その他	21

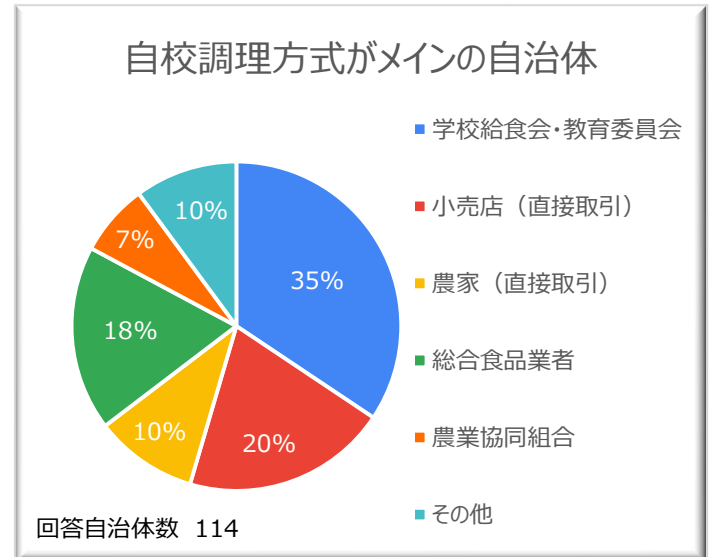
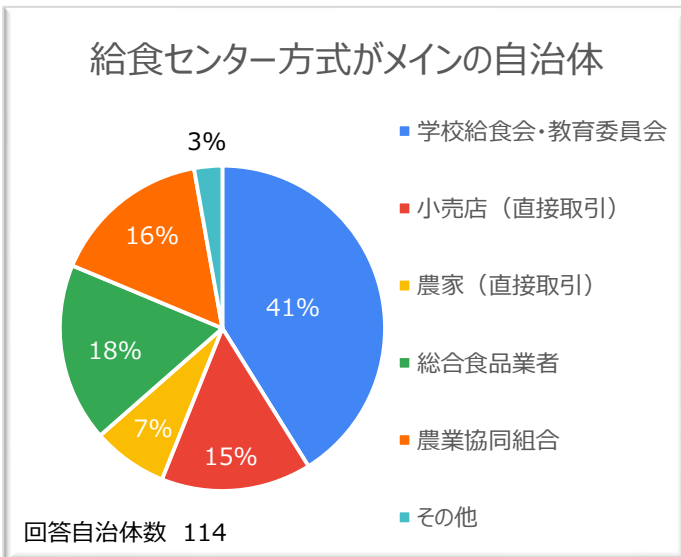
※ 学校給食会・・・米やパン、牛乳、その他の物資を安定供給する機関として、各都道府県に1つ設立されています



【質問のねらい】

- ・質の高い食材を調達したり、地産地消をさらに進めるときに関係者は誰なのか、現状を知るための調査
- ・学校数や生徒数といった規模の違い、給食センターで調理するところと、学校ごとに調理場を持つところで違うかなどを他の質問と組み合わせて一つずつ分析する

(参考) 調理方式メイン別自治体の傾向



【調査結果について】

調理食数の多い給食センターでは、例えば形の揃った野菜が大量に必要で、不揃いの野菜を扱うのは難しいなど、課題を明確にしていくなかで必要な情報となります。まだ調査の入口ですが、自校調理方式の自治体は、やや農家や小売店からの直接取引が多いですが、はっきりとした差までは見られません。今後は、例えばカット野菜の項目との関連性はどうかなど、分析を進めることで、課題を明確にしていきます

5-1) 採用している調理方式を、全て回答願います (複数回答可)

小学校	センター方式	77	自治体
	自校調理方式	68	自治体
	親子方式	16	自治体
中学校	センター方式	79	自治体
	自校調理方式	56	自治体
	親子方式	19	自治体

【質問のねらい】

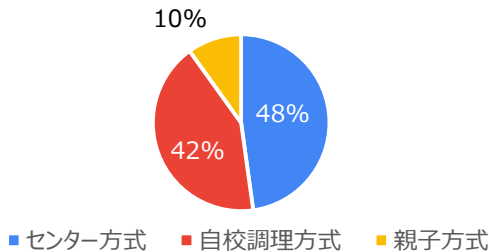
- ・自治体ごとの差など、実態を知る
- ・地産地消や質の高い食材調達には、どの方式が良いのかや、給食費無償化を進め、質が下がらないかなど、様々な分析に必要

5-2~4) 採用している調理方式を、学校数で回答願います

小学校	センター方式	968	校
	自校調理方式	1,683	校
	親子方式	74	校
中学校	センター方式	761	校
	自校調理方式	489	校
	親子方式	88	校

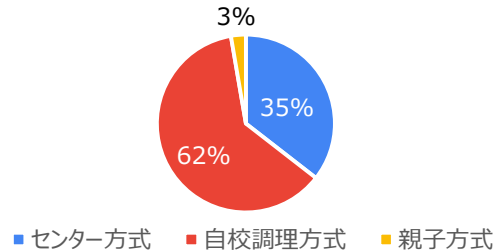
※ 親子方式・・・調理場を持つ学校が、持たない学校の給食を作り、配送する方式

小学校・調理方式 (自治体数)



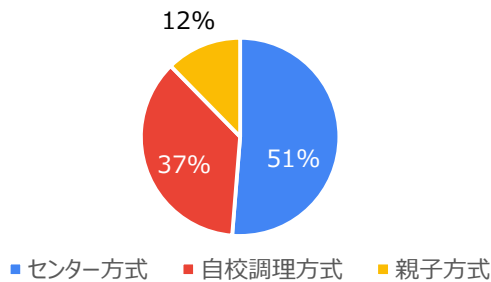
回答自治体数 114

小学校・調理方式 (学校数)



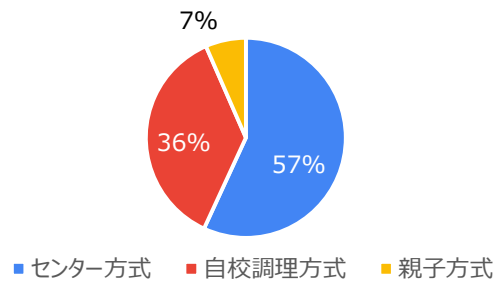
回答自治体数 114

中学校・調理方式 (自治体数)



回答自治体数 114

中学校・調理方式 (学校数)



回答自治体数 114

【調査結果について】

自分たちの住むまちで様々な提案を行うときに「センター方式だと難しい」「自校調理方式だと難しい」など、設備や環境面で進まない場面があるかもしれません。そんな時に同じような状況のまちでも実現できている事例があれば、あと押しになるのではないのでしょうか？今の設備や体制のままでも、給食の質を高めていける可能性を探ります

地産地消

6) 地産地消率（都道府県産食材の使用割合）を教えてください

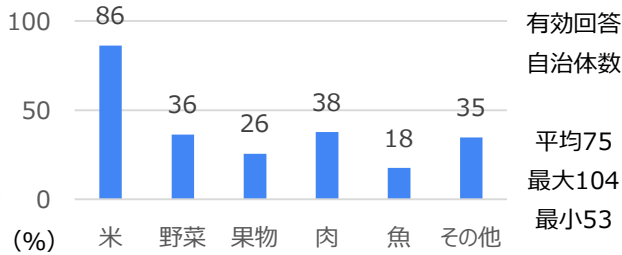
全国平均

小学校	米	86 %
	野菜	36 %
	果物	26 %
	肉	38 %
	魚	18 %
	その他	35 %
中学校	米	87 %
	野菜	36 %
	果物	22 %
	肉	38 %
	魚	15 %
	その他	32 %

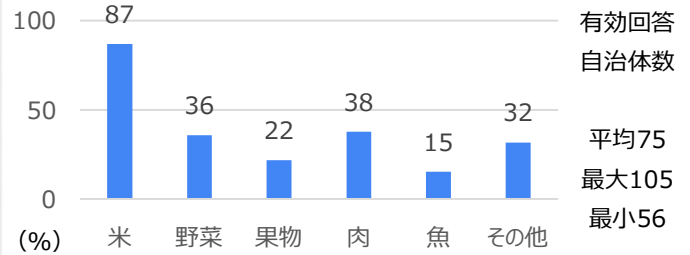
【質問のねらい】

- ・主な食材ごとに、実態を知る
- ・特に米と野菜は、地域内（都道府県内）で生産しているケースが多いと思われるため、全国の傾向や同じ都道府県内で比較することで、自分のまちに課題があるのか発見できる可能性がある

小学校) 地産地消率



中学校) 地産地消率



【調査結果について】

日本全国でお米が作られていて、東京と大阪をのぞくほとんどの自治体で、地域産のお米が給食に使われていることが分かりました。一方で2030年には、お米農家が担い手不足で激減するという予測もあります。都市圏の自治体と生産地の自治体の協力関係は、今後重要になってくるでしょう。そして都市圏では大量の食材が必要なので、生産地の自治体と買い取り契約を結ぶことで、すでに学校給食で農業者の経営を支えている事例もあります

また保存がきくお米以外の食材についても、地産地消をどう高められるか、調査と提案を行っています。今後想定されることとして、給食費無償化が進むことで予算が厳しくなり、地元産ではない安くて大量生産されたものばかり使われ、さらに農家が減る要因とならないか、懸念しています

質向上の補助

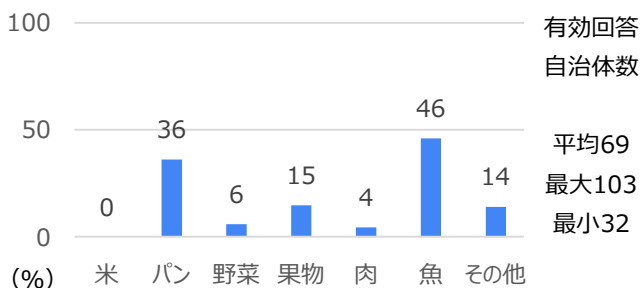
7) 輸入食材の使用率を教えてください

		全国平均	
小学校	米	0 %	
	パン	36 %	
	野菜	6 %	
	果物	15 %	
	肉	4 %	
	魚	46 %	
	その他	14 %	
中学校	米	0 %	
	パン	35 %	
	野菜	4 %	
	果物	14 %	
	肉	4 %	
	魚	45 %	
	その他	10 %	

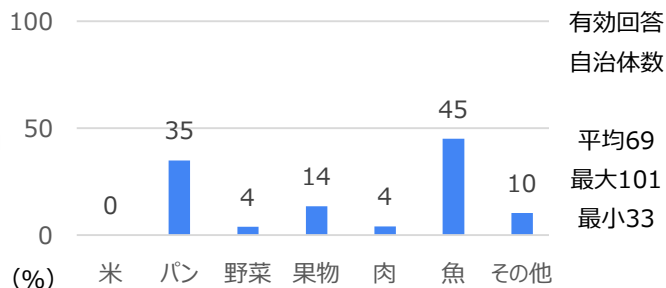
【質問のねらい】

- ・主な食材ごとに、実態を知る
- ・例えば小麦のように、農薬の残留基準が緩和されている食材もある。安全性を自治体ごとに確認していくなどの提案につなげる

小学校) 輸入食材使用率



中学校) 輸入食材使用率



【調査結果について】

海に囲まれた日本で、なぜ魚は半分も海外産なのでしょう？ たしかに大量に調理する給食では調達先も限られますが、日本全体が輸入に依存し過ぎていることで、燃料代や他国との購買競争によって価格も左右されているのではないのでしょうか？

都市圏に人口が集中している日本で、多くの食材を海外や北海道、九州に依存した食料供給体制のまま、大震災のとき本当に大丈夫でしょうか？ 「地元の生産者を支える」ための給食は、自治体にできる災害への備えでもあります。生産者に全て押しつけてきてしまった「食の備え」を、自治体と一緒に私たちは見直すべきではないのでしょうか？

輸入小麦はアメリカやカナダなどの遠方から輸送されてくるケースが多いです。一方で、残留農薬の基準は7年前に大幅緩和されています。身体は食べたものでできているという視点で、子どもたちの健康を考えたときに、国産小麦の使用を1つの安全基準として、各自治体で設けていく必要はないのでしょうか？

添加物の削減

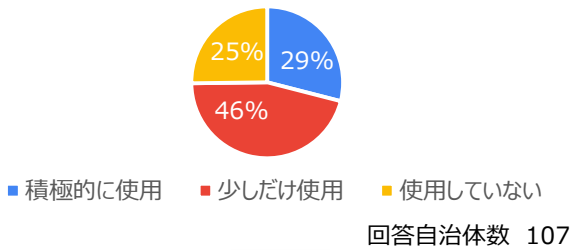
8-1) 調味料は無添加の物を使っていますか？（例、アミノ酸等、ブドウ糖果糖液等が入っていない）

小学校	積極的に使用	31 自治体
	少しだけ使用	49 自治体
	使用していない	27 自治体
中学校	積極的に使用	31 自治体
	少しだけ使用	48 自治体
	使用していない	28 自治体

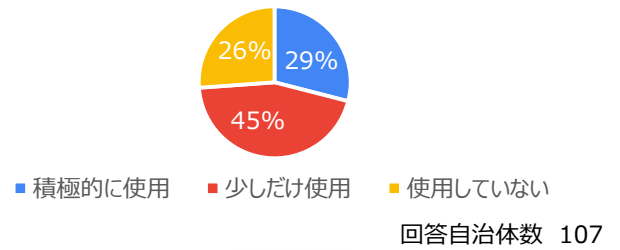
【質問のねらい】

- ・自治体ごとの実態を知る
- ・食品表示法が変わり、分かりにくくなっている現在
物資調達時に確認する項目の一つとして調査

小学校) 無添加調味料の使用



中学校) 無添加調味料の使用



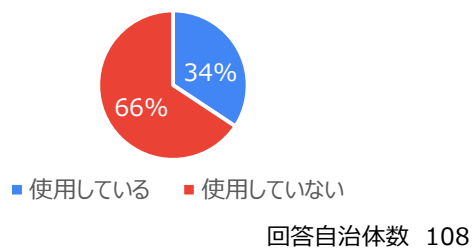
9-1) 塩は天然塩を使って調理していますか？

小学校	使用している	37 自治体
	使用していない	71 自治体
中学校	使用している	36 自治体
	使用していない	72 自治体

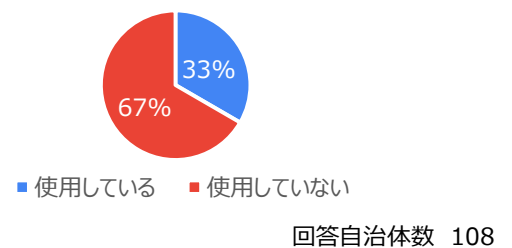
【質問のねらい】

- ・自治体ごとの実態を知る
- ・現代人に不足しているミネラル分を多く含む塩を使っているかどうか、健康に影響を及ぼす項目として調査

小学校) 天然塩の使用



中学校) 天然塩の使用



添加物の削減

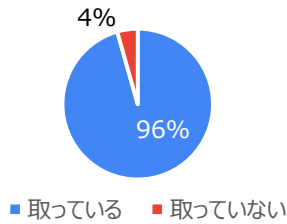
10-1) 調理するときに、出汁はとっていますか？

小学校	取っている	108	自治体
	取っていない	5	自治体
中学校	取っている	106	自治体
	取っていない	6	自治体

【質問のねらい】

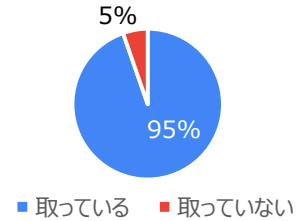
- ・自治体ごとの実態を知る
- ・手間がかかるため、給食費無償化によって効率化の方向へ進んでいないか、実態を調査

小学校) 出汁取り



回答自治体数 113

中学校) 出汁取り



回答自治体数 112

【調査結果について】

給食センター方式でも、自校調理方式でもほとんどの自治体で出汁取りを行っているという回答がありました。栄養士さんや調理師さんは、限られた予算と人員の中で給食を作ってくれています。給食プロジェクトメンバーも多くが子育て中なので、非常に頼もしく、うれしい結果となりました！ふだんは見えないその努力に、感謝を伝えていきたいと思えます

質向上の補助

11) 有機米と有機食材の使用率を教えてください（年平均）

※ 有機・・・当プロジェクトでは農薬や化学肥料を減らしたもので幅広く捉えてますが、ここでは自治体の回答にゆだねています

		全国平均	
小学校	米	4 %	
	米以外の食材 (回答自治体数)	1 %	84
中学校	米	3 %	
	米以外の食材 (回答自治体数)	1 %	85

【質問のねらい】

- ・自治体ごとの実態を知る
- ・自然栽培や有機栽培は、食材の調達先として課題が山積みだと考えていますが、取り組んでいる自治体もあるため実態を知る

【調査結果について】

有機 = JAS認定でほとんどの自治体は回答されており、あらためて有機栽培は広がっていないことが分かる結果でした。農薬や化学肥料を一度使った田畑では、次も使い続けると雑草が生えて労力が増えたり、安定した収穫ができないため、生産者の常識として自然栽培の収益化は難しいと言われていています。ただ次世代農業者の中には、土壌データを調査しながら手を加え、弥生時代からほんの数十年前まで行われていた農薬や化学肥料を使わない農業で、収益をあげている方もいます。海外からの輸入に化学肥料などをほぼ依存し、経営が安定しない構造になってしまったことへの対策を、私たちは農家の努力だけに任せて良いのでしょうか？

安全なものをお腹いっぱい食べられる環境を未来まで残し、地域ごとで災害に備えるため、今の農家を守りながら、有機栽培や自然農法にチャレンジする農家を応援していきませんか？ その一つの方法が、給食での買い取りだと私たちは考えています。

質向上の補助

12) 米飯、パン食、麺類は、それぞれ月何回提供していますか？

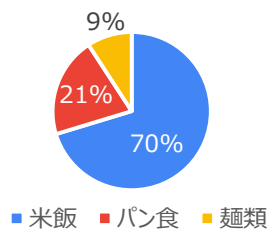
全国平均

小学校	米飯	14.1 回 / 月
	パン食	4.1 回 / 月
	麺類	1.9 回 / 月
中学校	米飯	14.4 回 / 月
	パン食	3.9 回 / 月
	麺類	1.8 回 / 月

【質問のねらい】

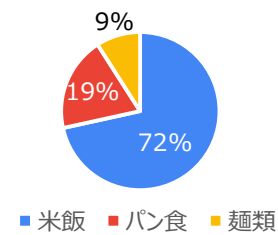
- ・自治体ごとの実態を知る
- ・文科省と農水省が連携している米飯学校給食について、自治体ごとの差はどのくらいあるのか実態を知る

小学校) 主食の提供割合



回答自治体数 111

中学校) 主食の提供割合



回答自治体数 112

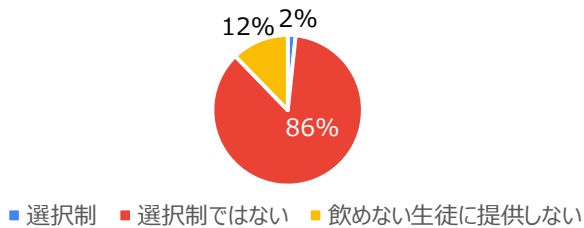
13-1) 牛乳は選択制ですか？

小学校	選択制	2 自治体
	選択制ではない	98 自治体
	飲めない生徒に提供しない	14 自治体
中学校	選択制	3 自治体
	選択制ではない	98 自治体
	飲めない生徒に提供しない	13 自治体

【質問のねらい】

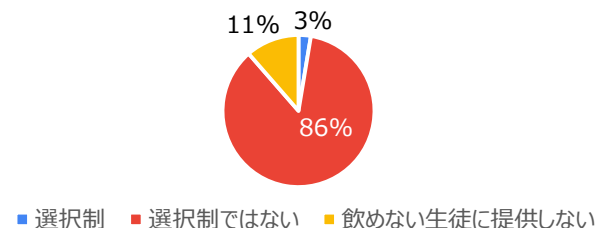
- ・自治体ごとの実態を知る
- ・牛乳はアレルギーだけでなく、身体にあわない子もいるため、まず実情を調査

小学校) 牛乳の選択制



回答自治体数 114

中学校) 牛乳の選択制



回答自治体数 114

13-2) 牛乳は月何回提供していますか？

全国平均

小学校	牛乳の提供回数	19.5 回 / 月
中学校	牛乳の提供回数	19.6 回 / 月

【調査結果について】

牛乳の選択制はほとんど導入されておらず、今回の調査では千葉県市川市、神奈川県茅ヶ崎市、新潟県関川村の3ヶ所だけでした（※8/18時点回答の自治体）他に飲めない生徒には提供しない自治体もあります。ひきつづき全国の事例を調べ、発信していきます

添加物の削減

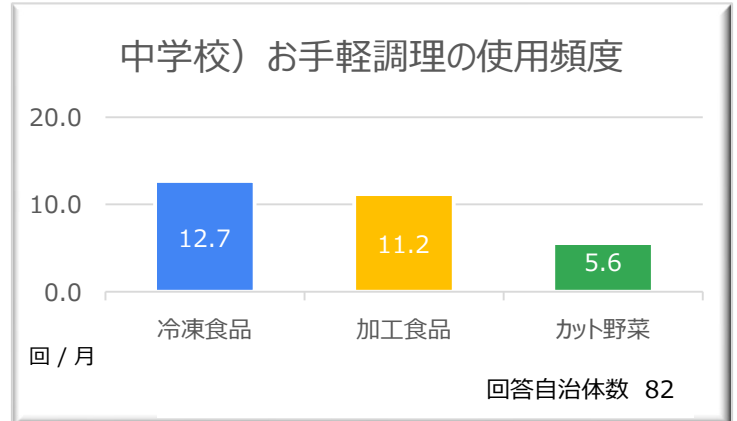
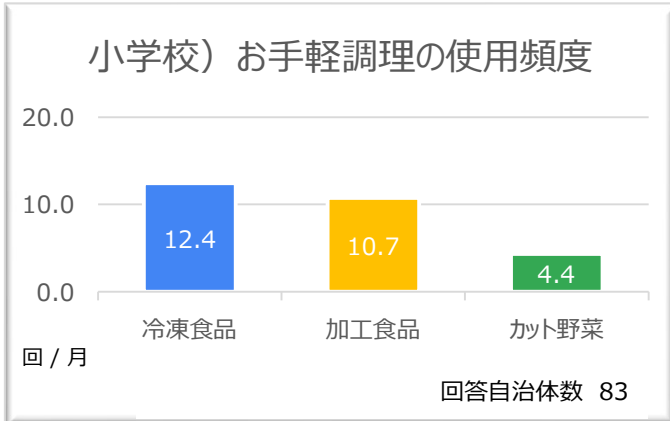
14) 冷凍食品、加工食品、カット野菜それぞれの使用頻度を教えてください（月〇回程度）

全国平均

小学校	冷凍食品	12.4 回 / 月
	加工食品	10.7 回 / 月
	カット野菜	4.4 回 / 月
中学校	冷凍食品	12.7 回 / 月
	加工食品	11.2 回 / 月
	カット野菜	5.6 回 / 月

【質問のねらい】

- ・自治体ごとの実態を知る
- ・添加物が使われている事が多いため、子どもたちの健康と、共働き世代の家事負担も支える給食という視点で、自治体ごとのバラつきを調査



【調査結果について】

栄養士さんや調理師さんは、限られた予算と人員の中で給食を作ってくれています。手間をかけて出汁を取ったり、調味料や加工食品に気を配り、ほとんど添加物を使っていない自治体も数多くありました。共働き世帯が増えて家事に時間をかけられない現在、子どもたちの健康を願うと、平日の昼食だけでも重要ではないでしょうか？ 学校給食現場や自治体の努力をもっと発信し、質を落とさないために必要な一食あたりの費用や、最低限必要な調理員の人数など、掘り下げて研究していきます

質向上の補助

15-1) 一食当たりの品数は平均何品ですか？（例. ごはん、おかず2品、汁物 = 計4品。牛乳は除く）

全国平均

小学校	一食当たり	3.9 品
	(回答自治体数)	111
中学校	一食当たり	4.0 品
	(回答自治体数)	109

【質問のねらい】

- ・自治体ごとの実態を知る
- ・「品数が非常に少ない」「量が足りているのか？」という声もあったため、まず実態の数字を調査

【調査結果について】

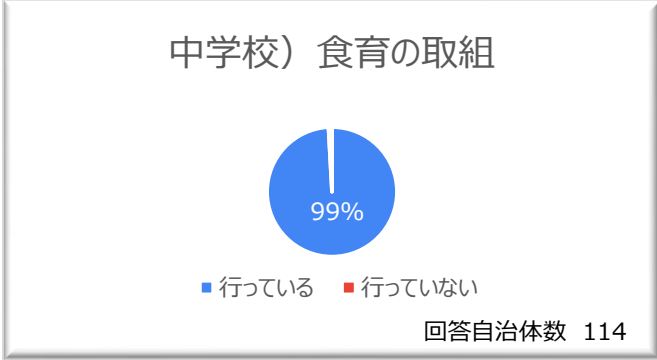
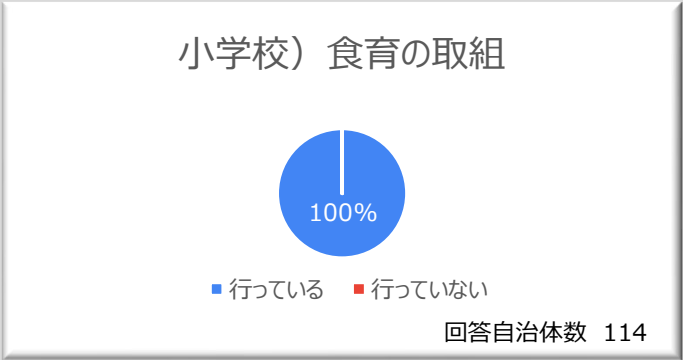
平均を見ると問題ないように見えますが、少ない自治体は3品と回答されたところもあります。献立によるバラつきまで回答に反映できていない自治体も含んでいるかもしれませんが、3品の自治体は5品の自治体と比べて、給食費が下がる傾向はないのか確認し、質を維持するために一食当たりの給食費はどのくらいが適正なのか、判断する項目の一つとします

食育の推進

16-1) 食育の取組を行っていますか？（例. 郷土料理、農業体験、バイキング給食、地元食器、残渣対策など）

小学校	行っている	114 自治体
	行っていない	0 自治体
中学校	行っている	113 自治体
	行っていない	1 自治体

【質問のねらい】
 ・全国各地の特色ある取り組みを調べ、発信する



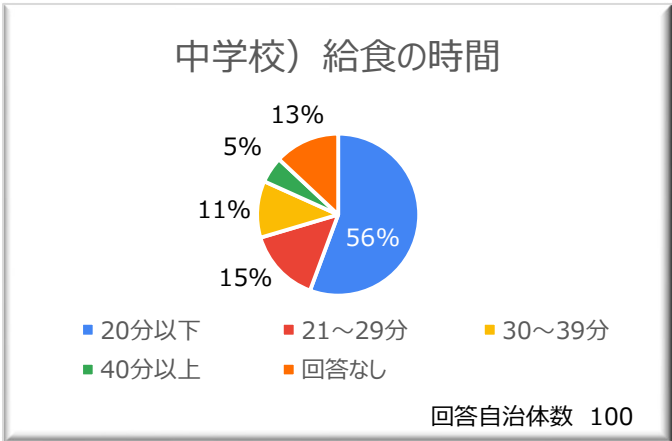
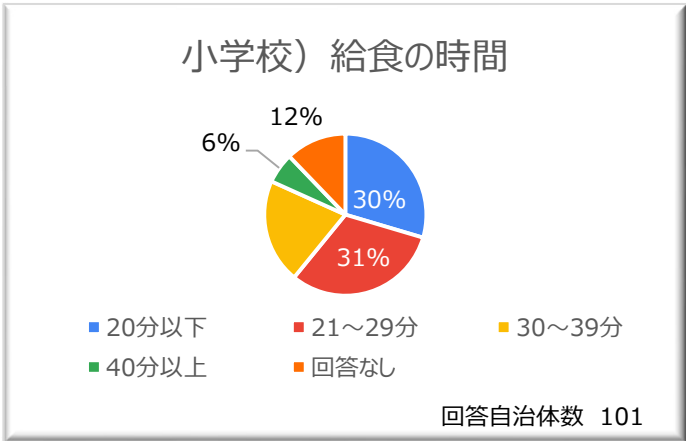
【回答の一例】
 全国から膨大な量の取り組みが集まっています！後日詳細をまとめて発表予定です

- ・国内友好都市（長野県伊那市）の農作物や農家さんの紹介（東京都新宿区）
- ・郷土の旬を味わう日として、旭川産リンゴや旭川産ゆめぴりかの提供と生産者との交流会（北海道旭川市）
- ・学校農園の活用（栽培、収穫、給食での使用）（埼玉県新座市）
- ・日本人の身体には、日本食が合うことを伝える（千葉県市川市）
- ・規格外野菜を使用した給食を提供し、栄養教諭がミニ講話（青森県弘前市）

17) 給食合計時間を教えてください（〇分）

小学校	理論上の時間	全国平均 43.6 分
	実際の時間	25.7 分
中学校	理論上の時間	36.4 分
	実際の時間	22.4 分

【質問のねらい】
 ・自治体ごとの実態を知る
 ・前後の授業内容や移動時間などで、給食時間が減っている可能性を調査



【調査結果について】
 皆さんはどのように感じますか？教職経験の長い給食プロジェクトメンバーの1人は、この短さに食育の課題を感じています。各自治体の食育に対する取り組みは素晴らしいのですが、給食時間でしか実現できないものは実情が伴っているのかも、掘り下げで確認する必要があるかもしれません

不登校サポート

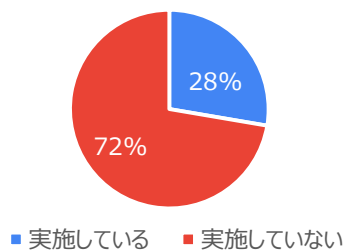
18-1) 不登校児童への昼食サポートは何か実施していますか？

小学校	実施している	31 自治体
	実施していない	81 自治体
中学校	実施している	31 自治体
	実施していない	81 自治体

【質問のねらい】

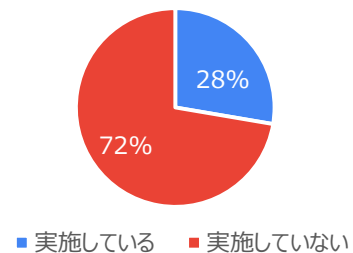
- ・自治体ごとの実態を知る
- ・不登校児童が増えている中で、すでに取り組んでいる自治体を調査し、発信していく

小学校) 不登校昼食サポート



回答自治体数 112

中学校) 不登校昼食サポート



回答自治体数 112

【取り組みの一例】

サポート内容の大半は「不登校児童への給食費停止」でしたが、中には以下の取り組みもありました

- ・給食センターを「第二の居場所」として、無料で給食を提供し開放している（東京都八王子市）
- ・教育支援センターに弁当を持参した児童の保護者へ給食費に相当する補助金を交付（千葉県市川市）

協力自治体 一覧①

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

日本の食と子どもたちを守るため、さらに良い給食を共に創ってまいります

都道府県	自治体名
北海道	赤平市
北海道	旭川市
北海道	上士幌町
北海道	釧路市
北海道	清水町
北海道	函館市
北海道	芽室町
北海道	稚内市
青森県	弘前市
岩手県	北上市
岩手県	盛岡市
宮城県	仙台市
宮城県	大和町
山形県	高畠町
山形県	天童市
福島県	西郷村
茨城県	笠間市
茨城県	水戸市
茨城県	那珂市
栃木県	宇都宮市
栃木県	真岡市
群馬県	太田市
群馬県	高崎市
群馬県	富岡市
群馬県	沼田市
埼玉県	朝霞市
埼玉県	桶川市
埼玉県	川口市
埼玉県	川越市
埼玉県	北本市
埼玉県	所沢市
埼玉県	新座市
埼玉県	飯能市
埼玉県	東松山市
埼玉県	ふじみ野市
埼玉県	吉川市
千葉県	市川市
千葉県	市原市
千葉県	佐倉市
千葉県	白井市
千葉県	流山市
千葉県	松戸市
千葉県	八千代市
神奈川県	綾瀬市
神奈川県	海老名市
神奈川県	茅ヶ崎市
東京都	足立区
東京都	板橋区
東京都	江戸川区
東京都	江東区
東京都	品川区

都道府県	自治体名
東京都	渋谷区
東京都	新宿区
東京都	杉並区
東京都	世田谷区
東京都	台東区
東京都	中央区
東京都	練馬区
東京都	港区
東京都	小金井市
東京都	八王子市
東京都	府中市
東京都	三鷹市
新潟県	燕市
新潟県	新発田市
石川県	金沢市
石川県	津幡町
福井県	福井市
長野県	岡谷市
長野県	軽井沢町
長野県	小海町
長野県	豊丘村
新潟県	上越市
新潟県	関川村
静岡県	湖西市
静岡県	島田市
静岡県	焼津市
静岡県	御殿場市
愛知県	一宮市
愛知県	稲沢市
愛知県	岩倉市
愛知県	春日井市
愛知県	刈谷市
愛知県	幸田町
愛知県	小牧市
愛知県	新城市
愛知県	津島市
京都府	木津川市
京都府	八幡市
大阪府	柏原市
大阪府	吹田市
大阪府	高槻市
大阪府	東大阪市
大阪府	八尾市
滋賀県	守山市
兵庫県	市川町
兵庫県	川西市
兵庫県	姫路市
和歌山県	橋本市
和歌山県	和歌山市
愛媛県	宇和島市
愛媛県	新居浜市

協力自治体 一覧②

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

日本の食と子どもたちを守るため、さらに良い給食を共に創ってまいります

都道府県	自治体名
高知県	高知市
高知県	南国市
岡山県	笠岡市
岡山県	倉敷市
鳥取県	大山町
鳥取県	日野町
広島県	呉市
広島県	東広島市
山口県	宇部市
島根県	海士町
福岡県	苅田町
福岡県	福岡市
福岡県	みやこ町
佐賀県	武雄市
長崎県	大村市
熊本県	菊陽町
熊本県	熊本市
熊本県	水俣市
鹿児島県	鹿児島市
鹿児島県	喜界町
鹿児島県	三島村
鹿児島県	南九州市
沖縄県	沖縄市